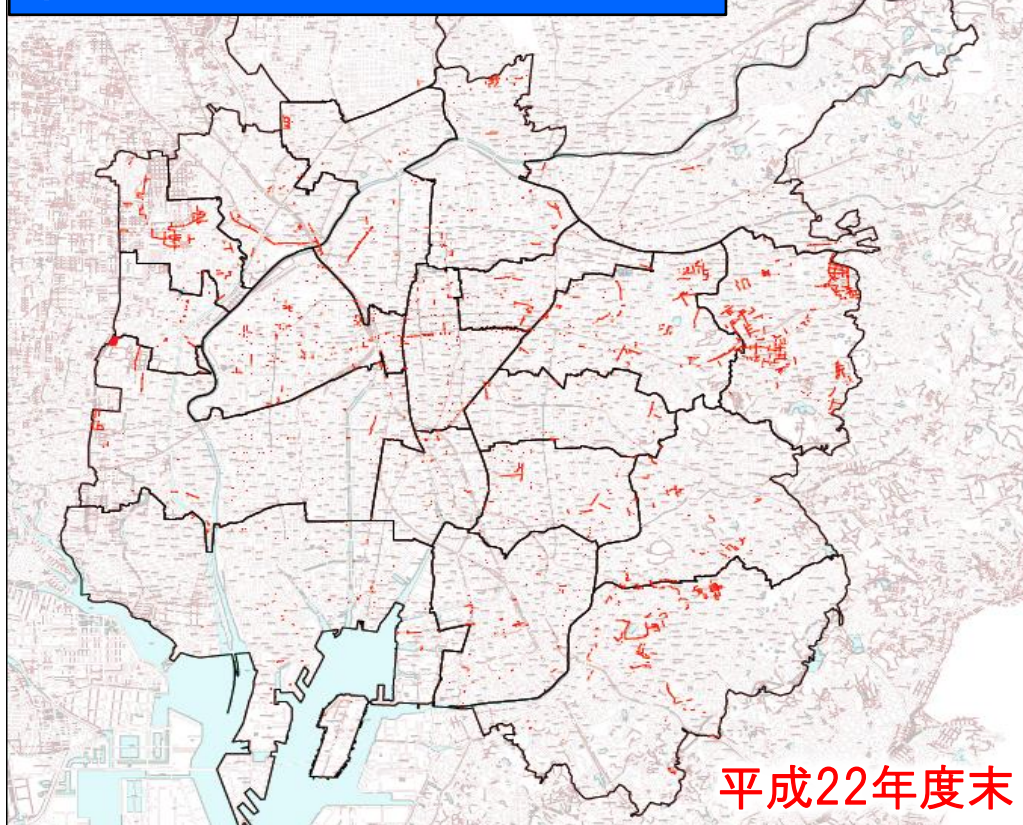


福田通信 防災版

普通・高級铸铁管の推移



▼平成22年定例会で「FC管は、10ポンド程の大ハンマーで叩くと簡単に割れてしまうので、大きな地震が起きたら必ず破損すると考え、一刻も早く耐震管に入れかえるべきである。災害時、避難所始め病院においては必ず給水可能な配管状態にすることが市民生活の安心・安全を確保するため最優先と考えます」と強く訴えた結果、**650カ所以上に点在したFC管は現在残り30カ所程度にまで耐震化が実現！配水管の耐震化率は、57%に上昇しました。**

▼二次災害につながる**河川の下越しは、平成28年度に全て耐震化**になりました。軌道敷内(下)については、平成23年度より28年度までの5年間で、18件中15件の耐震工事をしました。

福田の必死の訴えが実り、**現在本市は全国平均の2倍近く耐震化が進んでいます！**

実現
しました

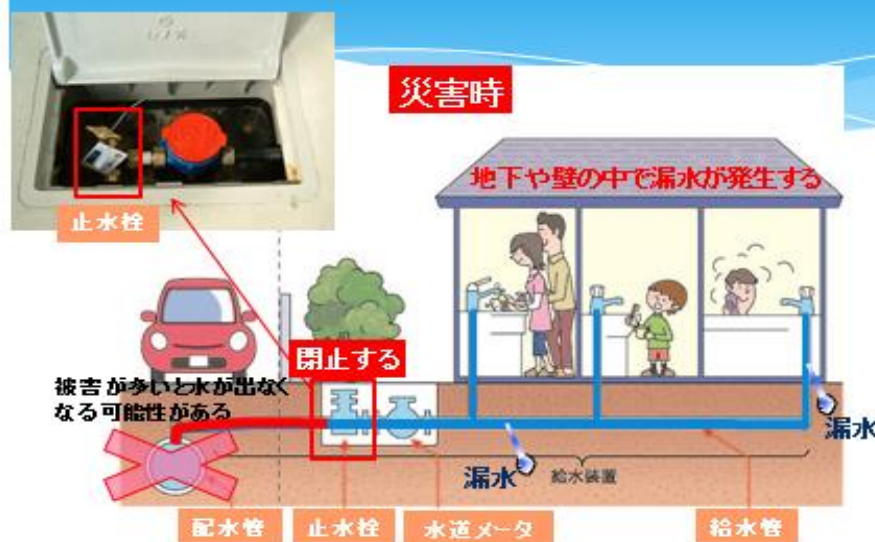
給水管を耐震化に...

議会質問



▼H29年度、給水管及び排水管耐震工事の予算が、小学校6校につくことが決定しました。

災害時の止水栓について

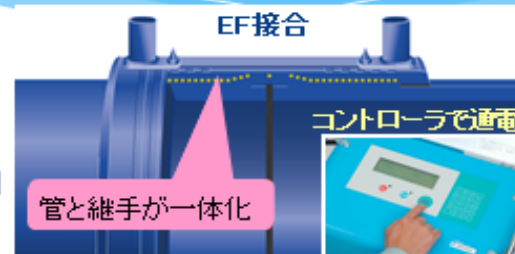


▼この図面は、道路から家庭内までの水道管を表しています。
▼災害時には、家庭内の水道管から漏水が起こる場合があります。そうすると家庭の蛇口から水が出なくなることがあります。
▼また、多くの家庭で漏水が起こりますと、道路上の配水管の水も出なくなる可能性があります。
▼そのため、家庭内の水道管で漏水があるときは、水道メータの近くにありますが止水栓を閉めていただくと漏水を止めることができます。
▼家庭内の漏水を止めることで、道路上の配水管への影響が小さくなり、応急給水施設などまで水を届けることができます。

φ50水道配水用ポリエチレン管

平成25年度から採用

- ・高密度ポリエチレン樹脂
- ・EF(熱融着)接合
- ・小口径(φ40以下)について採用



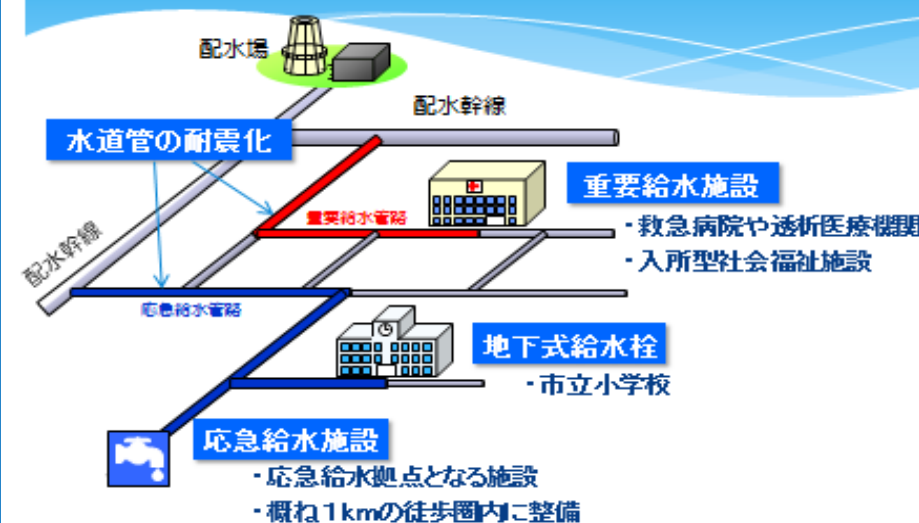
地震対策のさらなる強化



▼H24年度 経済水道委員会にて小口径の配水管について強く訴えた結果、H25年度からφ50水道配水用ポリエチレン管を採用されました。

▼φ50水道配水用ポリエチレン管は高密度ポリエチレン樹脂でEF(熱融着)接合をしているため、**地震に強い水道管**となっています。

重要な施設までの水道管の耐震化



▼避難所・救急病院や透析医療機関・入所型社会福祉施設などの災害時に重要な施設までの水道管の耐震化を進めています。

福田せいじ事務所

〒457-0866 名古屋市南区三条2-6-8

TEL 052-693-6922

http://www.s-fukuta.jp/